

三月七日 日曜日

七時過起床。昨夜はグッスリ眠れた。メモを少しばかり記して、八時前チエックアウト。駅迄歩く。雪道を転ばぬように歩く。朝の光が雪に反射して美しいが、それ位で気持が晴れる程若くはない。一ノ関駅は東口が新しく出来ていて、菅原が言っていたように、そのデザインは悪い。品格が無い。当然誰かが設計しているのだろうが、こういうのは犯罪に近い。こういう風景を見続けたからこそ、日本人の品格全体が落ちてしまった。マ、こんなモンで怒るのも馬鹿馬鹿しいけれど。八時半の「はやて」で東京へ。十一時半研究室。十三時のすまい学教室の準備。二〇名程の参加者で十五時過迄。明日のプレゼンテーションの黒田の仕事を
見る。

三月八日

十時研究室。伊藤さん来室。大室山の件十三時前まで相談。十七時馬場さん夫妻来室。十八時学部再編会議。学内政治に夢中になつている人間というのは下品な奴が多いな。田舎芝居の科白みたいな暴言を吐く奴もいるし品格の水準は三流政治家以下だ。こんな人達と混じり合っていたら、こちらまで御同類になつてしま
う。

三月九日

今、二十一時ANA一三一便で沖縄へ飛んでいる。今朝は十時から研究室ミーティング。今年、前半の目標（イヤな言葉だな）を述べる。又、研究室のプロジェクトを大きく三つの島に区分けして、それぞれの島の役割についても、概略を述べた。これで通じればこれ位楽な事はないのだが、繰り返して、繰り返して、手を変え品を変え説き続けなくてはならない。これじゃ、説教坊主だ。午後は個別のプロジェクトをそれぞれ見た。これ位の事で疲れてはいけないのだが、消耗はするね。十八時研究室を出て、今こうして沖縄便の機中。

那覇空港着、モノレールを使って旭橋下車。なんでこんな処を深夜に歩いているのかといぶかしみながらも、歩いてオーシャンビューホテルチエックイン二十三時過。家内に電話したら、朝の腰痛は針で治したそう。ホツとする。機内でサンドイッチを喰べたのだが、流石に空腹でルームサービスを取る。ビーフカレー。寂しいもんだ。我ながら、こんなに働いて、深夜に一人ビーフカレーだつて。畜生。沖縄のカレーは不味かつたのを思い出して、一人舌打ちしているところ。ため息をつくか、舌うちするかしか他にやる事がないものね。ルームサービスで運び込まれたビーフカレーはやはり不味かつた。善意で解釈すれば沖縄は固有の食文化が強いので、カレー的グローバリゼーションは浸透し難いのだろうか。